

## 6. 陸上昆虫類等調査結果

## 6. 陸上昆虫類等調査

### 6.1 陸上昆虫類等調査結果の概要

#### (1) 確認種

今回とりまとめを行った 14 水系 16 河川で確認された陸上昆虫類等は、18 目 321 科 4,183 種でした。確認種数が多かった河川は、中国地方の天神川で 1,584 種、次いで近畿地方の揖保川で 1,239 種、中部地方の安倍川で 1,163 種等でした。

#### (2) 重要種

今回とりまとめを行った 16 河川で確認された重要種は、環境省のレッドリストで絶滅危惧類に指定されているシルビアシジミ本土亜種やコガタノゲンゴロウ等、6 目 18 科 24 種でした。重要種の確認種数が多かった河川は、近畿地方の揖保川の 7 種、次いで近畿地方の加古川の 5 種でした。確認河川数が多かった種は、環境省のレッドリストで準絶滅危惧に分類されるシロヘリツチカメムシの 5 河川、次いで準絶滅危惧に分類されるキアシハナダカバチモドキの 4 河川、準絶滅危惧のコオイムシの 3 河川でした。

##### (注) 重要種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を重要種としました。

- 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種および緊急指定種
- 環境省編「レッドリスト」掲載種（2006；クモ形類・甲殻類等，2007；昆虫類）

#### (3) 国外外来種

今回とりまとめを行った 16 河川で確認された国外外来種は、7 目 27 科 40 種でした。国外外来種の確認種数が多かった河川は、近畿地方の紀の川で 20 種、中部地方の宮川、中国地方の天神川、九州地方の白川の 15 種でした。国外外来種の全く確認されなかった河川はありませんでしたが、地方別では北海道地方が 4 種と最も少ない結果でした。

##### (注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、外来種の選定には、資料 I.6 (30～31 ページ) および 32 ページに掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。